

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：奈良井・澤村]
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342

令和2年度 病害虫発生予察情報 技術情報第3号

令和2年7月17日
島根県病害虫防除所

ハスモンヨトウのトラップにおける誘殺状況について

キャベツなどのアブラナ科野菜やナス、トマト、ダイズを加害するハスモンヨトウの性フェロモントラップでの誘殺数が平年に比べ多く推移しています。今後幼虫による被害が平年より多く発生する可能性があります。現地では発生状況の把握に努め、被害が認められる場合には適切な防除をお願いします。

1. 現在の発生状況

1) 出雲市の性フェロモントラップにおいては6月2半旬以降は平年に比べ多く誘殺されている。7月2半旬までの累積誘殺数は平年の4.7倍の1346頭が多かった。益田市の性フェロモントラップにおいては6月4半旬と7月1, 2半旬に誘殺数が多かった。7月2半旬までの累積誘殺数は平年の1.3倍の505頭でやや多かった。(図1)

2) 現在、野菜類での被害を認めていない。

3) 注意事項

- (1) 本種は上記の作物の他、キクやトルコギキョウ等の花き類やネギ、タマネギ、イチゴ、ヤマイモ、ソバ、ブドウ、カキなど多くの作物を加害する。
- (2) 薬剤の使用にあたっては、本県農作物病害虫雑草防除指針を遵守する。
- (3) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターHP (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>)で確認できる。
- (4) 施設栽培ではハウスサイド、出入り口、天窓等の開口部に防虫ネットを被覆するなど、成虫の侵入防止に努める。
- (5) 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので若齢幼虫期に重点をおいて防除する。

2. 資料

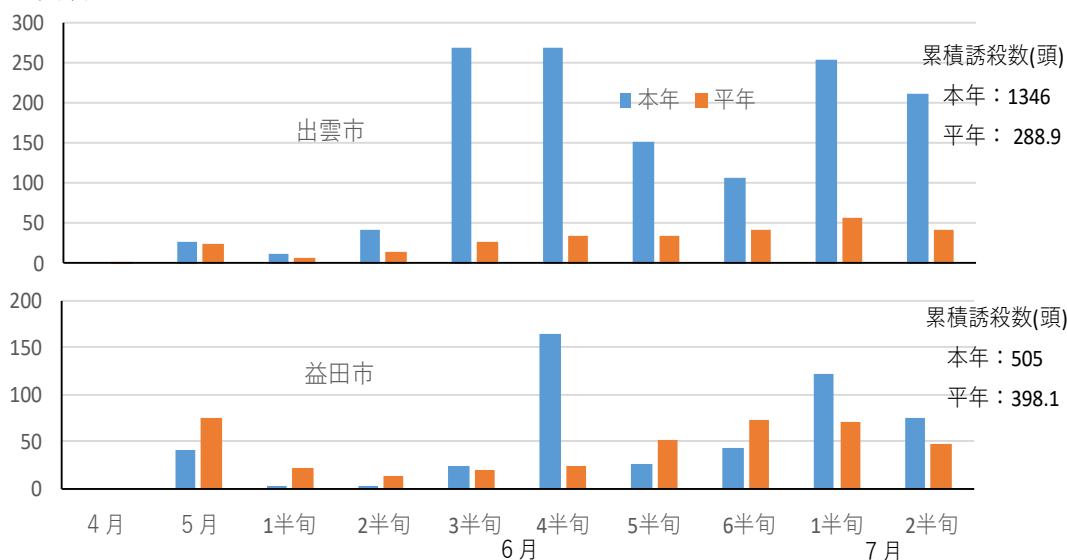


図1 性フェロモントラップによるハスモンヨトウの雄成虫の誘殺数(頭)



図1 ハスモンヨトウ成虫



図2 キャベツ葉上のハスモンヨトウ
幼虫と卵塊（右上）